

特42

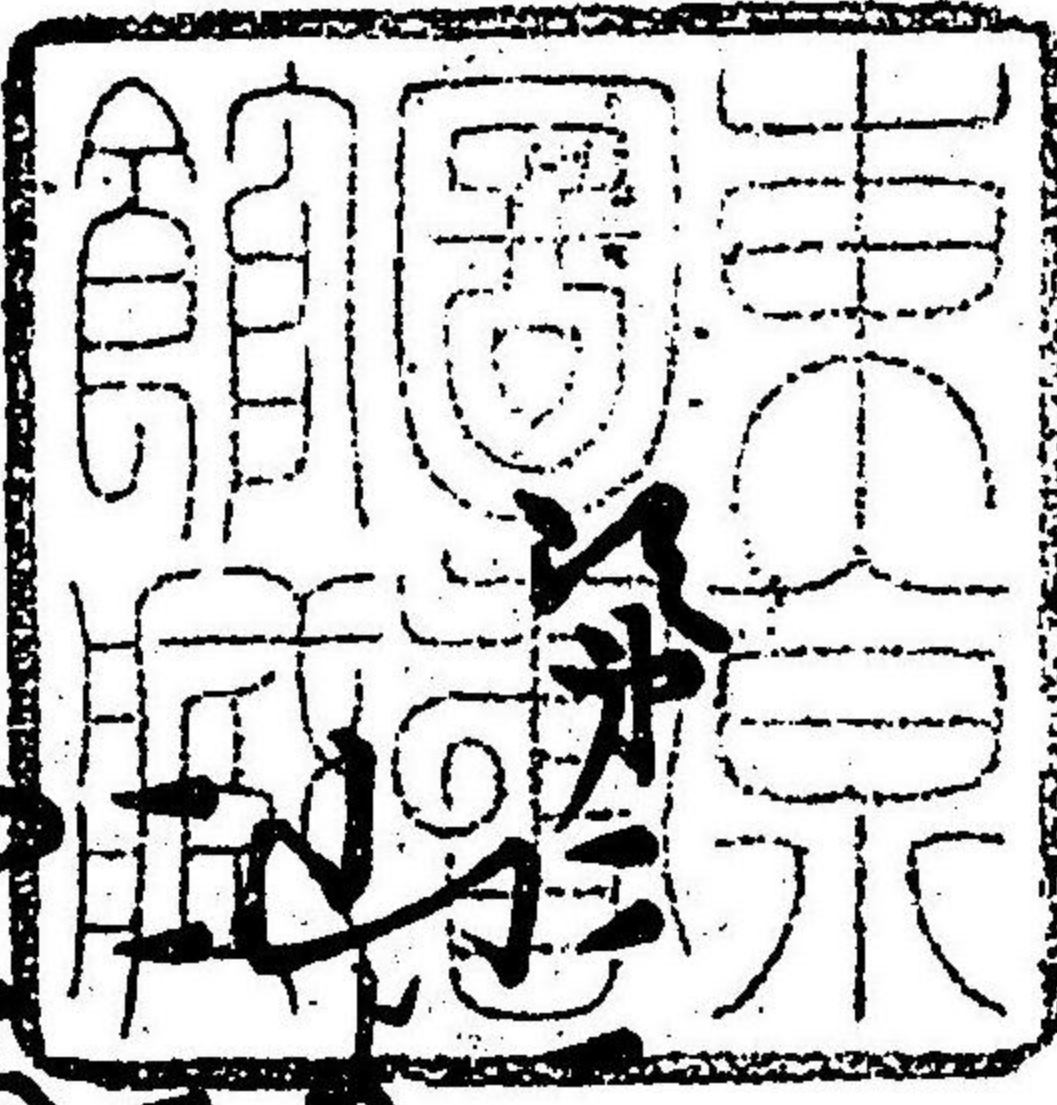
459

家

51

東 京 圖 書 館

二 冊	三 號	四 架	五 函	音 樂 類	和 書 門
--------	--------	--------	--------	-------------	-------------



定家

りいんおおむく行な

事ある際見入お國方より

出い僧あての執事おとさん

よ此度思立都よりい

や松の長いあふたま

かきまのいりおとあさ

あ

東の國を越えんとす。其の道は
 険しき。其の地は荒れす。其の
 民は多し。其の俗は異なり。其
 の言は通じず。其の行は難し
 也。其の道は遠し。其の地は廣
 し。其の民は多し。其の俗は異
 なり。其の言は通じず。其の行
 は難し也。其の道は遠し。其の
 地は廣し。其の民は多し。其の
 俗は異なり。其の言は通じず。
 其の行は難し也。其の道は遠し。
 其の地は廣し。其の民は多し。

其の道は遠し。其の地は廣し。
 其の民は多し。其の俗は異なり。
 其の言は通じず。其の行は難し
 也。其の道は遠し。其の地は廣
 し。其の民は多し。其の俗は異
 なり。其の言は通じず。其の行
 は難し也。其の道は遠し。其の
 地は廣し。其の民は多し。其の
 俗は異なり。其の言は通じず。

あゝかゝる女を執するに家入執
は執りて後かかるとも三子の親程
はり者なきよともいふ家に入るか
賀は女の高き節の念か程
る由お語人^女三子の親王に
やうにおもひおしひくか程か
いふは家に入るに
いふは家に入るに

か
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに
いふは家に入るに

大

六

ふらふらと秋の
花を眺めながら
又たくの中と
思ふはるかな
名
あはれ霜より
身
の道へは
ま
賀

花の咲くも
秋の
花
あはれ
霜
思ふはるかな
又たくの中と
思ふはるかな
名
あはれ霜より
身
の道へは
ま
賀

上母

多^マ能^ノ為^ニ歎^キ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

君^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

上地

月^ノ也^ナ草^ノ葉^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ

今^ノも^ノ今^ノも^ノ今^ノも^ノ今^ノも^ノ今^ノも^ノ

親^ノ王^ノ具^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ

を^レ獨^ニり^ても^ノ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ

身^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ子^ノ也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

名^ノも^ノ今^ノも^ノ今^ノも^ノ今^ノも^ノ今^ノも^ノ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト其^レ母^ノ身^ノ入^ル事^ト也^ナ

法乃雨の志くさ皆うらちひて草
 本國去懸皆自吹公のまこえぬき入
 家葛もの家源毛ほろくそけ
 ひろくたのぢうくそは弱車火事
 をかこぬ有難らよ此報恩よいそ
 けらあるしを井の花の袖首を
 今よそひある其舞姫のたこまろ毛

上女
 ねしなりの舞の
 乃舞のあつたあ
 ちの乃がねあ
 月れ身をも
 乃まのすま
 芝露く消くもつ
 城の部女さうが
 地
 ねしなりの舞の
 乃舞のあつたあ
 ちの乃がねあ
 月れ身をも
 乃まのすま
 芝露く消くもつ
 城の部女さうが

契れ夢の平うさうつる可いゆり
蘇の城のぞいれとくぞひまじり
や宮家のつとむるひまじり
うづのさうりくも形色埋りわて
きき

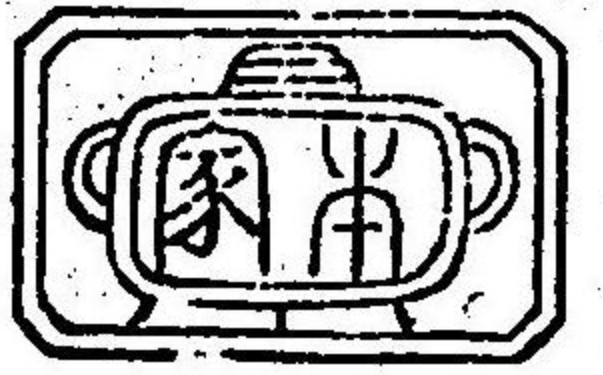
右之本者觀世太夫織部
章句真本令成行畢

正徳六丙申歲弥生

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治十七年三月六日翻刻御届
同年四月十二日別製本御届

定價四錢

翻刻人

京都府平民

寺田熊



下京區第五組赫屋町
錦小路五梅屋町十三番戶

